

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
8	森 山 き よ み	社 民	関 係 局 長	

発言の要旨

<p>1 本市職員構成における現状・課題と人材育成について</p> <p>(1)現状と課題について</p> <p>①年代別人数と傾向・特徴</p> <p>②技術の継承等問題はないか</p> <p>③女性職員の割合について</p> <p>ア. 年代別・全職員・管理職に占める割合の5年間の推移</p> <p>イ. 国の目標、中核市との比較</p> <p>④再任用制度開始等による新規採用・人事異動への影響</p> <p>(2)人材育成について</p> <p>①「鹿児島市人材育成基本方針」に関して</p> <p>ア. 策定経緯、改訂の機会</p> <p>イ. 「地域の一員として活動し、地域に貢献する職員」とは</p> <p>ウ. 「住民と向き合い 協働する力」とは</p> <p>エ. 「職員の社会貢献活動への参加促進」の進捗は</p> <p>オ. 「人事で育てる」の具体的取組み</p> <p>カ. 5つの職員像に対する評価</p> <p>②「地域活動等に顕著な功績のあった職員の表彰」について</p> <p>ア. 設定した目的</p> <p>イ. 表彰の基準</p> <p>ウ. 5年間の実績</p> <p>③今後の対応について</p> <p>ア. 国際化への対応、「地域で育てる」観点が必要では</p> <p>イ. 指標の設定と進行管理</p> <p>ウ. 「表彰」制度は、どうするのか</p> <p>エ. 基本方針の抜本的見直し</p> <p>2 「関係人口」と本市の広報戦略について</p> <p>(1)「関係人口」に関する見解</p> <p>(2)「ふるさと納税」にみる納税者の動機</p> <p>(3)本市に移住された方々の動機、経緯、職業、地域</p> <p>(4)「鹿児島塾」の開催</p> <p>(5)「役に立ちたい」という若者たちの意識の変化と各地の動向の把握は</p> <p>(6)「あなたの力を」という情報発信の検討</p> <p>(7)「関係人口」を拡大する施策についての市長の見解</p>
---

3 「ひきこもり」対策について

- (1) 「ひきこもり」の定義
- (2) 全国・鹿児島県的人数
- (3) 本市の実態（年代別男女数、期間）
- (4) 県・市の対応について
  - ①相談・支援体制と平成28・29年度の相談者数とその特徴
  - ②就労等へ繋がった実績
  - ③現状の相談・支援に対する見解
- (5) 「不登校」の生徒について
  - ①中学三年・高校三年生の過去3年間の男女別人数
  - ②卒業後の進路の把握とその実態
  - ③卒業後の追跡調査の状況と制度の有無
- (6) 今後の対応について
  - ①本市も実態調査をするべきではないか
  - ②「不登校」生徒の卒業後のフォロー体制の整備を
  - ③難しい課題であるが、本市も一歩進むための市長の見解

4 学校のクーラー設置並びに更新について

- (1) 現状について
  - ①現在の設置基数
  - ②耐用年数13年を超えた数
  - ③古いクーラーの経過年数と設置台数を古い順に5年間
  - ④昨年夏時点で、故障していた数、そのうち修理できた数と使用できなかった数
  - ⑤現在の更新の考え方
- (2) 平成30年度新しく設置、更新する学校数並びにクーラー数
- (3) ランニングコストは一基当たり年間どの程度か
- (4) 28年度においてメンテナンスにかかった費用
- (5) イニシャルコストの検討状況（設置・更新、熱源・大きさ・効果）等
- (6) ランニングコストの検討状況
- (7) 今後の対応について
  - ①故障の際の対応について契約時に明確にしておくべきではないか
  - ②イニシャルコストや効果等検討した上で新しい機種も検討すべき

5 高校入試における追加試験導入について

- (1) 入学試験の現状について
  - ①受験当日に欠席並びに別室受験の実態（県立・市立別に過去5年間）
  - ②別室受験の流れと診断書提出の有無
- (2) インフルエンザの流行について
  - ①過去5年間の学級閉鎖の状況
  - ②流行の期間
  - ③受験日時点の流行状況と終息時期
- (3) 別日程で実施している他都市の状況
- (4) 別日程で実施することの検討を